



## 「みじか」に若いパワーが

**民**生委員・児童委員の活動を広く周知し、理解を深めてもらうため、体験型インターンシップ・プログラム「民生委員・児童委活動の見える化プロジェクト」が8月22日から9月7日までの5日間実施されました。関西福祉科学大学社会福祉学部3回生中島麻花さん（写真左）と同2回生南翔太さん（写真右）が、地区の見守り訪問、高齢者サロンの手伝い、地区会議への参加など民生委員・児童委員の活動を体験しました。3日の「あかみね」での“第12回 さあ、秋だ！みんなおいでや”では車椅子体験や利用者との交流、6日の主任児童委員部会のロール紙芝居の練習では、セッティングやカラスの声の代役をしました。7日の広報委員会議では、広報委員では出てこない新しいアイデアを積極的に出していました。



## みんなおいでや！

**9**月3日（日）市立障がい者福祉センター「あかみね」で“第12回 さあ、秋だ！みんなおいでや”が開催されました。このイベントは、障がい者理解を深めるために毎年開催されています。あかみね全館を使って、障がい者のための疑似体験コーナーや授産品の展示・販売、模擬店があります。毎年障がい部会が研修として参加していますが、今年は参加した障がい部会33人のうち15人が受付や模擬店の販売などのスタッフとして活動しました。

午前の部では、河内長野市障がい者福祉関係6団体による講演会「障がい者福祉関係団体～おもうこと～」がありました。各団体が抱えている課題や現状を発表して、意見交換を行いました。午後の部は、ママさんブラス milk tea の演奏がありました。



## みんなあつまれ！

**主**任児童委員部会11人が、9月22日（金）加賀田公民館で「みんなあつまれ」を開催しました。今回のイベントは加賀田公民館主催の子育て楽育講座の2回目、11組23人の親子が参加しました。

当日は、ロール紙芝居「ふうぜん、まって」とパネルシアターを上演しました。ロール紙芝居ではお母さんのそばで見ていた子どもたちでしたが、パネルシアターでは動物の名前を答えたりパネルに触ったりしていました。その後参加したお母さん同士が交流する時間もありました。



## 広報紙づくりに強い味方が

**広**報委員会から久成副会長を通して要望した新聞・冊子・チラシ作りソフト購入が9月13日（水）の地区委員長・副委員長・部会長・委員長合同会議で承認されました。今後事務局と購入本数や導入方法を相談し広報委員会議で使い方の講習会を開催する予定です。今回購入するソフトは、段組みなどの設定をしなくても、テンプレート（雛型）に見出しや記事、写真を取り込むだけで広報紙や機関紙が作成できる機能が付いています。早ければ来年4月発行の「みじか」34号の作成から利用していく予定です。